雪の女王
ファミリー紙芝居
トレコードつき
©YNGEP
72121
ファミリーかみしばい
33
雪の女王
ヤングエポック

雪の女王
①

ファミリー紙芝居「海外の名作シリーズ」
雪の女王
発行所　株式会社ヤングエポック
東京都台東区駒形一―一二―一二
電話　八四三―一三五二(代)
落丁、乱丁がありましたらお取りかえいたします。

ファミリー紙芝居「海外の名作シリーズ」

雪の女王

資料提供　YNGEP紙芝居研究会
製作　ヤングエポック

(1)

あるところに　わるいことが
大すきな　あくまが　いました。
あくまは　ある日　まほうの
かがみを　つくりました。
「あはは……この　かがみに
うつるものは　みんな　きた
なく　みえるぞ　こりゃ　お
もしろい　よおし　じゃ　か
みさまを　うつして　やろう」
すると　とつぜん　かがみが
こなごなに　くだけました。
かがみの　かけらは　せかいじ
ゅうに　ちらばり　たくさんの人
の　目や　こころの中に　はいり
こんで　しまいました。

(ぬく)

(2)

小さな町に　カイという　おとこの子と　ゲルダという　おんなの子が　すんでいました。
　ふたりが　なかよく　ほんを　よんでいると

カイ「あっ　いたい！」

　カイが　さけびました。

ゲルダ「カイちゃん　どうしたの？」

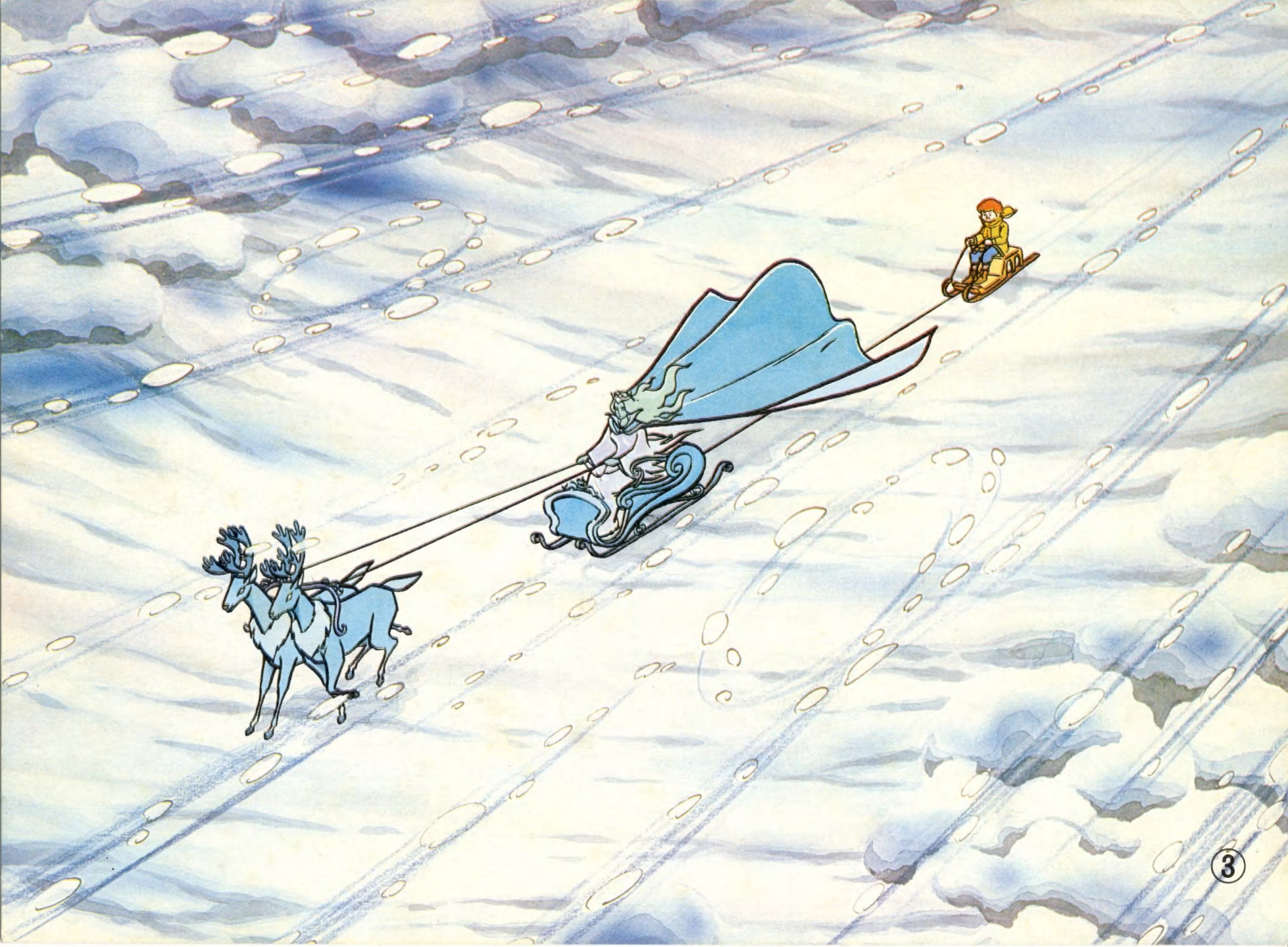
カイ「ああ　目が　チクチクする」

　たいへんです。
　あくまの　かがみの　かけらが　カイの　からだに　とびこんだのです。

カイ「なんだ　きたない　花が　さいてるなあ」

　カイは　とつぜん　バラの花を　むしりとって　しまいました。

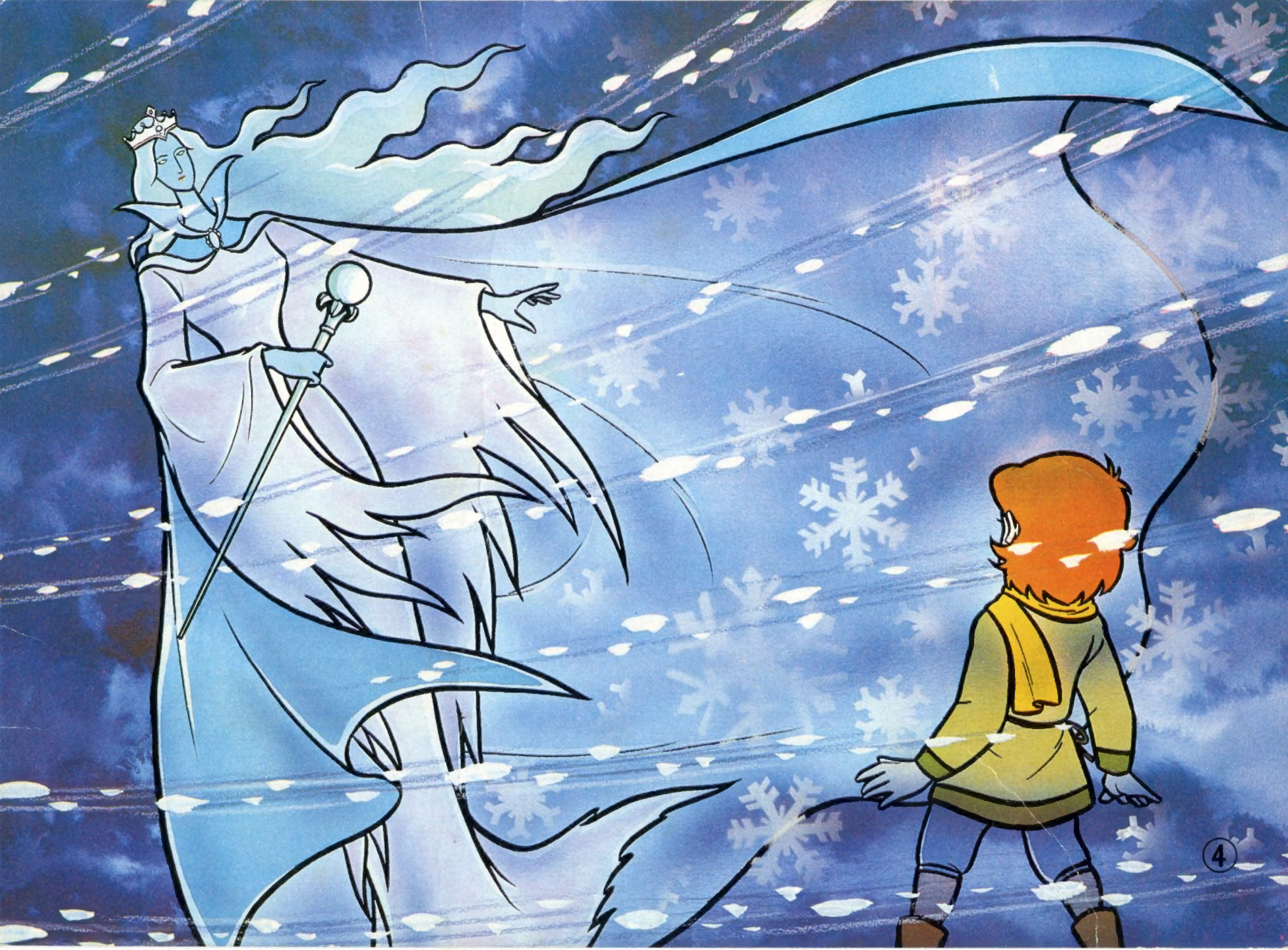
（ぬく）

(3)

カイは　その日から　きゅうに
らんぼうな　おとこの子に　かわ
ってしまいました。
ある日　ひろばで　ソリあそび
をしていると　大きな　白いソ
リが　やってきました。

カイ
「そうだ！　あの　大きなソ
リの　うしろに　ぼくの　ソ
リを　くっつけたら　らくに
すべれるぞ」

カイは　さっそく　いたずらを
はじめました。

カイ
「わあ　すべる　すべる　い
いきもちだあ」

（ぬく）

(4)

白いソリは　ぐんぐん　スピードを　あげて　町のそとに　でていきました。

カイ　「ぼ　ぼく　こわい……」

とつぜん　ソリを　ひいていたおんなの人が　ふりかえりました。

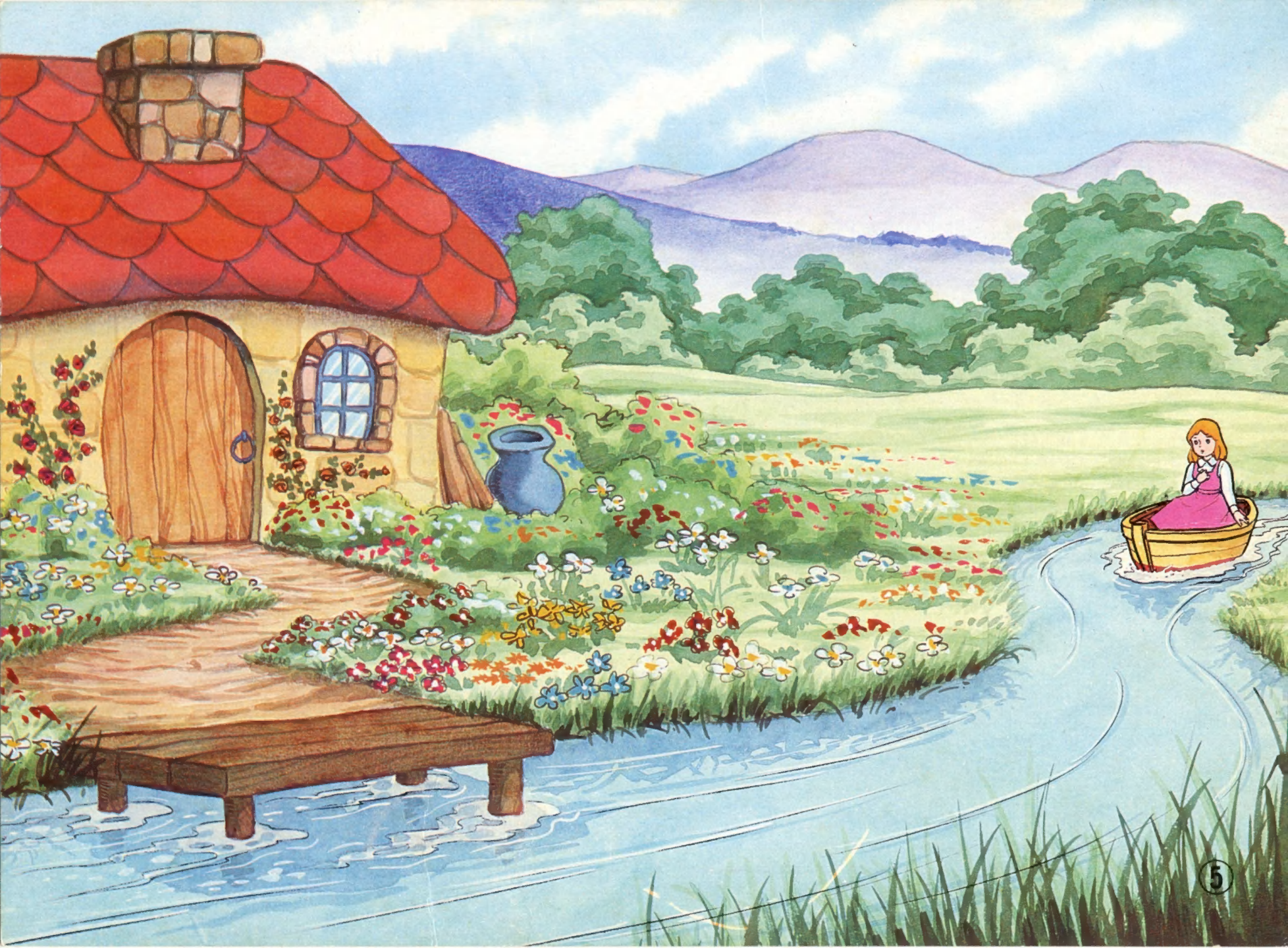
カイ　「あっ」

こおりの　からだ　ゆきのマント　その人は　ゆきの女王だったのです。

ゆきの女王　「ホホホ　ふるえているの？　さあ　こっちへ　いらっしゃい」

ゆきの女王は　カイを　マントで　くるむと　そらたかく　まいあがりました。

（ぬく）

(5)

はるになっても　カイは　いえに　かえってきません。

ゲルダ
「カイちゃんは　きっと　いきているわ　わたし　さがしに　いこう!」

町のはずれの　川には　ボートが　うかんでいます。

ゲルダ
「もしかしたら　カイちゃんの　ところへ　つれていってくれるのかも　しれないわ」

ゲルダが　とびのると　ボートは　ひとりでに　ながれだし　やがて　花にかこまれた　小さないえの　そばに　とまりました。

（ぬく）

⑥

(6)

するといえのなかから　おばあさんが　でてきました。

おばあさん　「ひとりで　よくきたねえ」

ゲルダ　「カイっていう　おとこの子を　しりませんか？」

おばあさん　「そんな子は　しらないよ　さあさあ　いえに　はいって　さくらんぼを　おあがり」

おばあさんは　ゲルダが　かわいくて　たまらなくなりました。
そこで　ゲルダの　おもいでを　すっかり　かくしてしまいました。

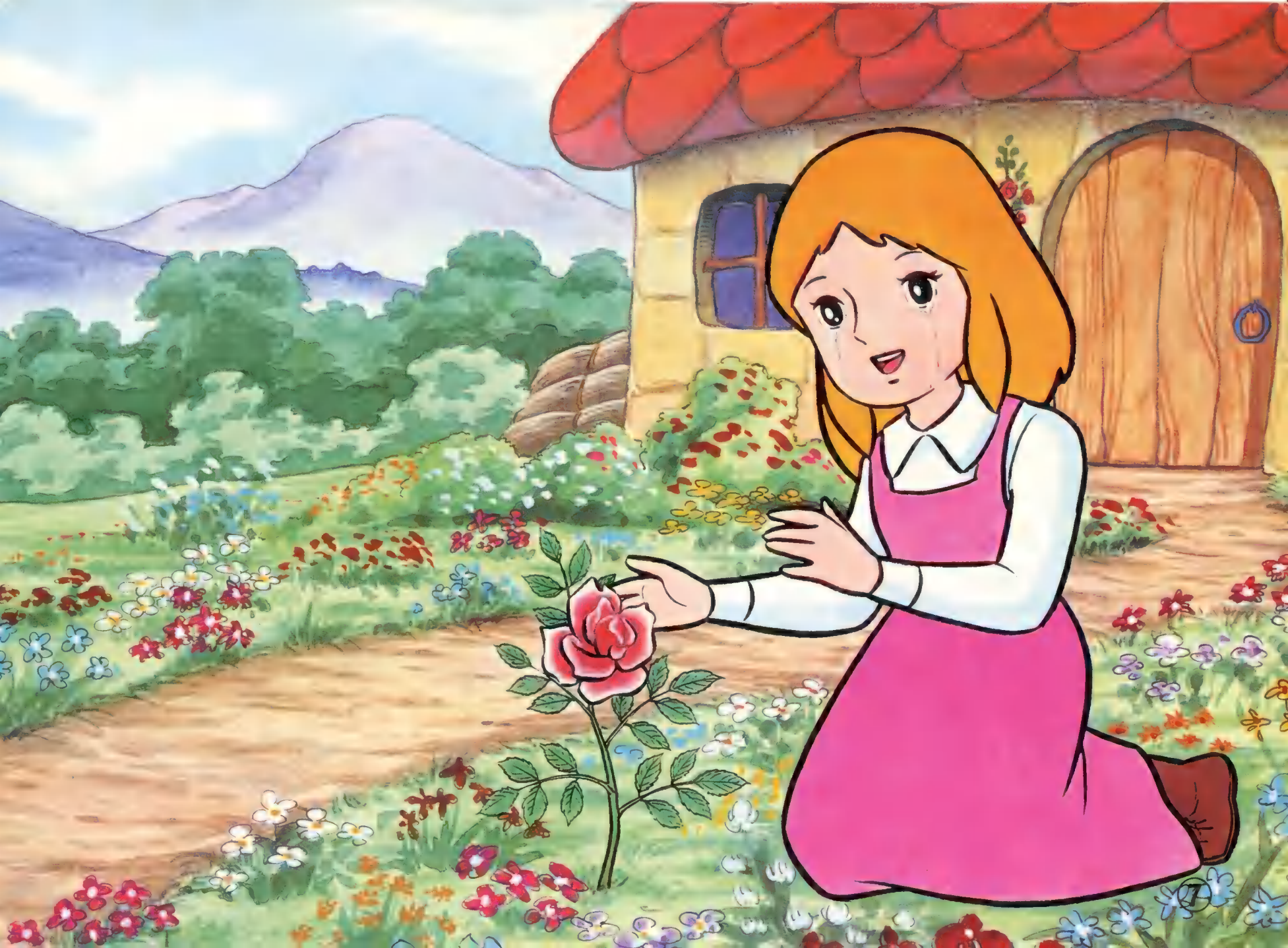
おばあさん　「いつまでも　ここに　いるんだよ」

おばあさんは　まほうつかいだったのです。

（ぬく）

ゲルダ

ゲルダ

(7)

ゲルダは　カイのことを　すっかり　わすれて　まいにち　すごしました。

けれども　ある日

「おかしいわ　お花は　いっぱい　さいているけれど　なにか　ひとつ　たりないわ」

ゲルダは　さびしくなって　ないてしまいました。

すると　なみだの　こぼれた土から　めがのびて　やがて　バラの花が　さいたのです。

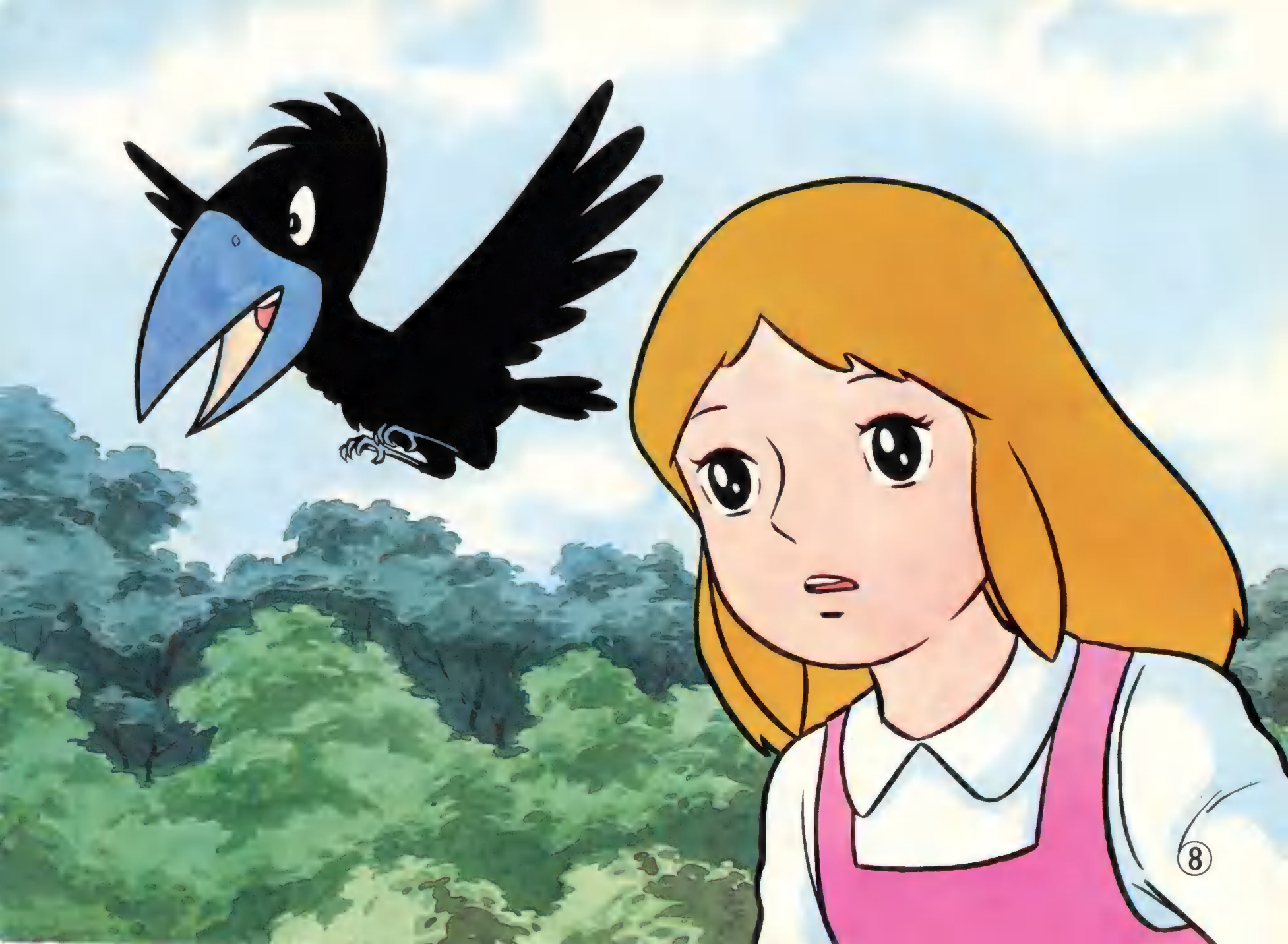
「まあ　バラの花！　おもいだしたわ！　わたし　カイちゃんを　さがしていたんだわ」

ゲルダは　そっと　おばあさんのいえから　にげだしました。

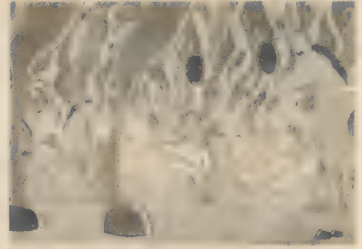
（ぬく）

⑧

ゲルダ　カラス　王女

（8）

もりの　いりぐちで　ゲルダは
カラスに　あいました。
「カラスさん　カイちゃんを
しりませんか？」
「もしかしたら　おしろに
やってきた　おとこの子が
カイちゃんかも　しれないよ」
ゲルダと　カラスは　おしろを
たずねましたが　その　おとこの
子は　カイでは　ありませんでし
た。
「ゲルダさん　きを　おとさ
ないでね」
王女さまと　王子さまは　かわ
いそうに　おもい　ゲルダに　金
のばしゃを　くださいました。

（ぬく）

(9)

ゲルダを　のせた　金のばしゃ
が　くらい　もりのおくに　さし
かかったとき

さんぞく1　「金のばしゃだ！　とまれっ」

さんぞくの　むれが　ばしゃに
おそいかかって　きたのです。

ゲルダ　「たすけてっ」

さんぞく2　「おとなしく　するんだ！」

そのとき　さんぞくの　むすめ
が　さけびました。

むすめ　「その子に　さわっちゃ　だ
めだ　あたしの　ともだちに
するんだから！」

むすめは　ばしゃに　のりこむ
と　ゲルダを　かくれがまで　つ
れていきました。

（ぬく）

(10)

かくれがは　山のなかの　こわれかけた　おしろでした。
くらいへやの　すみには　たくさんの　はとが　ねむっています。

むすめ　「つかれたろう　いっしょにねようよ」

ゲルダ　「あ　ありがとう」

むすめ　「どうして　ひとりで　ばしやに　のってたんだい？」

ゲルダは　カイのことを　くわしく　はなして　きかせました。

はと　「クークー　ぼくは　カイちやんを　みたよ」

ゲルダ　「えっ　はとさん　ほんと？」

はと　「ゆきの女王と　いっしょにきたのくにへ　とんでいったよ」

（ぬく）

(11)

ゲルダ　「ああ　きたのくにに　カイちゃんが　いるんだわ！」

むすめ　「じゃ　すぐに　さがしに　いくんだね　きたのくにならトナカイが　よく　しってるよ」

　あくるあさ　さんぞくの　むすめは　トナカイの　せなかに　ゲルダを　のせてくれました。

ゲルダ　「ありがとう……」

むすめ　「めそめそするのは　きらいだよ。さあ　きがつかれない　うちに　はやく　いくんだ」

ゲルダは　さんぞくの　むすめに　わかれを　つげて　きたへむかって　しゅっぱつ　しました。

（ぬく）

(12)

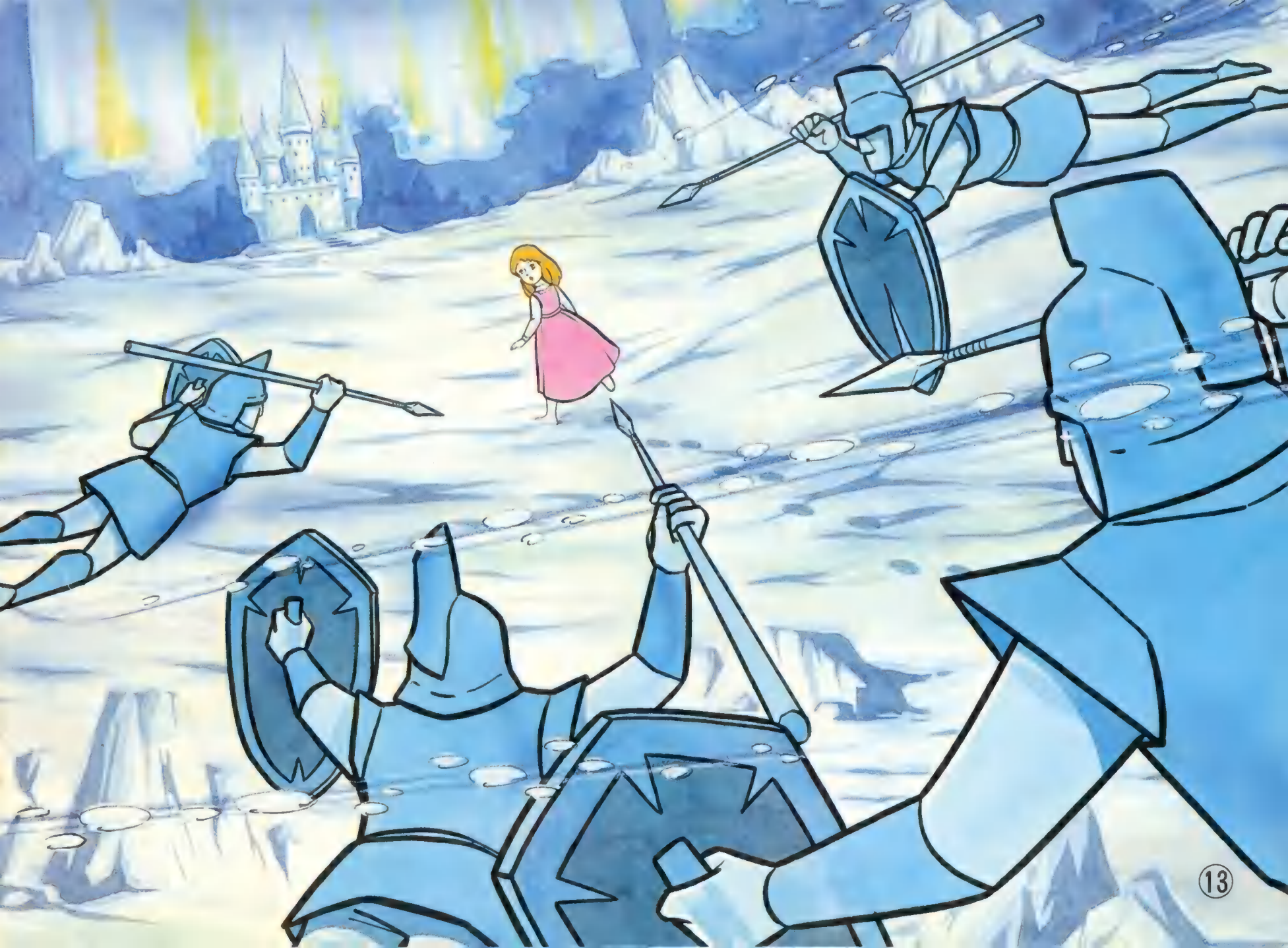
トナカイは　よるも　ひるも
ゆきの中を　はしりつづけ　やっと　いっけんの　いえを　みつけました。
ゲルダが　カイの　いどころを　たずねると

おんなの人
「その子は　たしかに　ゆきの女王の　ところに　いますよ」

ゲルダ
「おねがいです　どうすれば　たすけられるか　おしえてください」

おんなの人
「あなたひとりの　ちからで　たすけるのです　きっと　できますよ」

（ぬく）

(13)

トナカイは　ゲルダを　ゆきの
女王の　にわまで　はこびました。
　ここからは　ゲルダ　ひとりで
あるかなければ　なりません。
「あんまり　いそいだので
コートも　くつも　おいてき
て　しまったわ」
　こおりの　にわを　ゲルダは
はだしで　あるきました。
　つめたい　ゆきのへいたいが
あとから　あとから　せめてきま
す。
「ああ　かみさま　どうぞ
おまもりください」
　ゲルダは　こごえながら　かみ
さまに　いのりつづけました。

（ぬく）

ゆきの女王

ゲルダ

(14)

カイは　ゆきの女王の　こおりの　きゅうでんに　ずっと　とじこめられて　いました。
「カイ　わたしは　これから　あたたかい　くにに　ゆきを　ふらせて　くるからね」
ゆきの女王は　でかけてしまいました。
カイは　こおりの　かたまりのようになって　すわっています。
そのとき　ゲルダが　きゅうでんに　はいってきました。
「あっ　カイちゃん！　カイちゃん……　とうとう　みつけたわ！」

（ぬく）

(15)

けれども　カイは　みうごきもしません。

ゲルダは　なきながら　さんびかを　うたいました。

　ゲルダの　なみだが　つたわると　カイの　からだが　だんだんとけて　きました。

ゲルダ　「カイちゃん　カイちゃん…」

　とつぜん　カイの目から　なみだが　あふれました。

　その　ひょうしに　目のなかのかがみの　かけらが　そとに　とびだしたのです。

カイ　「ゲルダちゃん！」

ゲルダ　「ああ　きが　ついたのね
よかった！」

（ぬく）

(16)

ふたりは　トナカイに　のって
オーロラを　ぬけ　もりを　ぬけ
て　はしり　やがて　みおぼえの
ある町に　つきました。

カイ
「なつかしいなあ」

ゲルダ
「みんな　もとの　ままだわ」

いえの　とぐちに　たったとき
じぶんたちが　すこし　おとなに
なっていることに　きが　つきま
した。

カイ
「あっ　バラの花が　さいて
る」

ゲルダ
「まあ！きれい」

ふたりは　むかしのように　な
かよく　ならんで　まどべの　バ
ラの花を　ながめたのでした。

（おわり）

シートレコードの扱い方

◎ステレオ、モノラル、どちらのプレーヤーでもお聞きになれます。
◎回転数は　$33\frac{1}{3}$回転です。
◎針はステレオ針、又はＬＰ針でおかけください。古い針はシートの寿命を縮めますからご注意ください。通常、サファイヤ針はシート200回が限度です。
◎シートは塩化ビニール製ですので、静電気を帯び、ちりやほこりがつきやすいのでご注意ください。
◎熱の高いところにおいたり、重い物をのせたりしないようにご注意ください。
◎ご使用後はもとの袋に入れて保存してください。

シートレコード製作
アテネレコード工業株式会社

★ファミリー紙芝居の遊び方★

＊シートレコードをかけながら　誰か一人が物語に合わせて　画面をさしかえていきます。シートレコードを使わない場合は　次のようにして遊んでください。

＊お子さまたちでなさる場合
・大きな声ではっきりとおはなしします。
・「　」のところは、ほんとうにしゃべっているようにはなします。
・場面によって　はやくぬいたりおそくぬいたりしてください。

＊お母さま、お父さまがなさる場合
・登場人物に合わせて　声の調子をいろいろ変えて　楽しい紙芝居を上演して下さい。
・上演後、みんなで感想をはなしあいましょう。あとで　もう一度お子さまにやらせて　発音、発声、抑揚など指導してあげてください。

●紙芝居をいっそう楽しくするために専用のＴＶ型ステージがあります。あわせて御利用下さい。

ディズニーシリーズ

★ダンボ
★101匹わんちゃん大行進
★バンビ
★シンデレラ姫
★赤ずきんちゃん
★ピノキオ
★ピーターパン
★おしゃれキャット
★白雪姫
★ミッキーとドナルド
★三匹の子豚
★みにくいあひるの子
★眠れる森の美女
★ふしぎの国のアリス
★ロビン・フッド
★わんわん物語

まんが日本昔ばなしシリーズ

★まんが日本昔ばなし　つるのおんがえし
★まんが日本昔ばなし　かさじぞう
★まんが日本昔ばなし　かぐや姫
★まんが日本昔ばなし　ぶんぶくちゃがま
★まんが日本昔ばなし　はなさかじいさん
★まんが日本昔ばなし　うらしまたろう
★一休さん

海外の名作シリーズ

★トムとジェリー
★小公子
★小公女
★雪の女王
★人魚姫

（以下続刊）

株式会社ヤングエポック　東京都台東区駒形１－２－２
電話　８４３－１３５２（代）